

令和5年度 長崎県立五島高等学校「ふるさと教育」実施計画書

1. テーマ

高校生による地域活性化を図るための社会探究型課題研究（バラモンプラン）

2. 目標

- (1) 地域探究を通して、地域の魅力を再発見させる。
- (2) 自分を取り巻く環境に対する理解を深めさせる。また、その環境に対して自分がどのように関わるべきであるかについて考えさせ、自らの提案を発信させる。
- (3) 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。
- (4) 将来のキャリア形成に寄与させ、社会に貢献できる人材の育成を目指す。

3. 育成したい資質・能力

- (1) 【郷土愛】伝統と文化を継承し、地域の課題を学ぶことで個性豊かな文化の創造を図る。
- (2) 【思考力・判断力・表現力】問いの設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現などを通して、社会で生き抜くコミュニケーション力を育む。
- (3) 【主体性・協働性】自分自身と他者や社会との関わりの中で学びに向かう力、人間性を育む。
- (4) 【リーダーシップ】互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようという態度を養う。

4. 外部連携機関

	外部機関名	部署	役職	担当者
1	共立女子大学	教育学術推進課社会連携センター		
2	五島市役所	政策企画課		
3	五島市役所	文化観光課		
4	五島振興局	地域づくり推進課		
5	島内企業の皆様			

5. 連携会議または校内推進体制

会議名	バラモンプラン運営委員会		
委員長	教頭	副委員長	研修図書部主任
委員	教務主任、進路指導主事、スポーツコース主任、学年主任 教務部担当（1名）、進路指導部担当（1名）、研修図書部担当（1名）		

6. 主な取組

<p>【3年】</p> <p>○進路研究（面接・小論文） 新聞記事を要約し、小論文を書くことで、これまでの取り組み（興味・関心）と自分たちの進路をつなげて考える。</p> <p>○大学連携講座</p> <p>【2年】</p> <p>○五島を取り巻く環境を考える 「広報ごとう」、「五島市統計白書」、「切り抜き速報(新聞)」を用いた調べ学習</p> <p>○企業訪問 地元企業を訪問し、仕事内容や取り組みを知る</p> <p>○バラモンリサーチ 「第2期 五島市まち・ひと・しごと創成人ロビジョン・総合戦略」より五島市が抱える課題を考え、高校生の視点で課題解決のための提言を行う。</p> <p>○研究発表会（共立女子大学との連携） 外部よりアドバイザーを招いて発表会を行う。</p> <p>【1年】</p> <p>○ごとう出前講座、バラモンセミナー（講演会）</p> <p>○教育財政プログラム（財務省ワークショップ）</p> <p>○ブレ地域探究 2年次の本研究に向けて、探究活動の手法を学ぶ。 新聞や広報誌などを用いて地域の課題について調べ学習を行い、資料をまとめる。</p> <p>○自己探究 スタディサポート、適性診断ゲームなどを用いた自己分析</p> <p>○職業研究 ジョブ図鑑などインターネットを用いた職業調べ</p> <p>○学部研究 インターネットなどを活用したワークショップ</p> <p>○スポーツコースの生徒による大学調べ発表会</p>
--

7. 成果指標

	成果指標	検証方法	目標値
①	五島の魅力を再発見し、地域の発展に貢献したいという意識が高まった生徒の割合	生徒へのアンケート	85%
②	五島市の課題を分析し、課題改善のために高校生の視点で実現可能な提言ができた生徒の割合	〃	80%
③	仲間と協力し、地域の大人と繋がることで積極的に研究に取り組むことができた生徒の割合	〃	85%
④	生徒に求める資質・能力の育成に資するよう他の教員間・外部機関と協働、連携が図れた教員の割合	教員へのアンケート	90%

8. 体系図公表URL

公表日	URL
令和5年4月3日（月）	「ふるさと教育」体系図 長崎県立学校ホームページ (news.ed.jp)